平成23年度第3回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要

１．日　時　　平成23年7月26日（火）14時00分～17時15分
２．場　所　　関西学院大学大阪梅田キャンパス（アプローズタワー10階 1001教室）
３．出席者　　（敬称略、順不同）

大阪大学附属図書館	奥田　正義
関西学院大学図書館	兄井　栄子
京都大学附属図書館	山田　裕子
神戸大学附属図書館	土屋　祥子
奈良県立医科大学附属図書館	鈴木　孝明
神戸市外国語大学学術情報センター	飯島　祐子
追手門学院大学附属図書館	高畑　悦子
関西福祉科学大学図書館	田原　里香子
京都産業大学図書館	真部　理恵
同志社大学図書館	原　　健治

４．配布資料

資料1　開催通知
資料2　平成23年度第2回能力開発専門委員会議事録（案）　p. 2-5
資料3　平成23年度能力開発専門委員会開催日程検討資料　p. 6-7
資料4　平成23年度中級研修について
　4-1　決算案（決算報告、支出明細：一般、収支明細：情報交換会）　p. 8-10
　4-2　アンケート結果（Web掲載案）　p. 11-15
　4-3　受講機関職員数（統計データ）　p. 16
　4-4　各委員研修のまとめ　p. 17-32
資料5　平成24年度研修事業について
　5-1　近畿イニシア研修プログラム（h17-23）　p. 33
資料6　平成23年度中級研修当日使用資料【確定】
　6-1　収支リスト　p. 34
　6-2　司会原稿　p. 35-39
　6-3　アイスブレイク・情報交換会進行原稿　p. 40-42

５．議　事

１）前回議事概要の確認

了承された。

2）平成 23 年度中級研修について

① 決算案について

・専門委員会の直前に内部監査を行い、土屋主査、兄井委員が書類等を確認の上、決算報告書に署名した。

・山田委員が決算報告書（案）に基づいて説明を行った。

② アンケート結果（Web 掲載案）について

・アンケート回収数が受講者数より 1 枚多かったが、受講生以外が提出した用紙を特定することはできなかったので、回収数で集計した。

・特定大学の特殊事情と判断できる意見が 1 件あったので、別のものと差し替えることとし、専門委員の承認を得たのち事務局に提出することになった。また、併せて「受講者所属機関調査結果」も提出することが確認された。

③ 各委員研修のまとめについて

・各委員が提出した「まとめ」について補足説明を行った。

④ その他

・講師スライド（「お土産」パワーポイント）Web 掲載の可否について、飯島委員から講師に確認することになった。

・ポスター講評は、研修時間内に講師が全件の講評を終えたので、後日のメールによるコメント送付はなくなったことが確認された。

3）平成 24 年度研修事業について

① 研修の対象について

・隔年で初任者研修を行っている前例に倣い、平成 24 年度は初任者を対象とした研修を行うこととした。

② 時期について

・6 月 28 日（木）、29 日（金）の 2 日間にわたって開催する案が示された。

・どちらか 1 日のみの参加も可とする予定。

・2 日間とも 10 時から研修を開始する予定。

③ 場所について

・初任者研修は講師の数が多く、20 人程度収容可能な控室のある場所となると、必然的に利用できる会場が限られる。

・奥田委員が大阪大学の使用可否を確認することとなった。

④ 内容について

・1 日目に業務研修を 4 コマ、2 日目午前中に業務研修を 2 コマ、午後にプレゼンテーション/スピーチ研修のような実習を伴う研修を行うこととなった。

・業務研修のうち、過去 4 回とも行っている「資料収集業務」「目録・分類業務」「閲覧・ILL・レファレンス業務」「雑誌業務（電子ジャーナルを含む)」「情報リテラシー教育」については、24 年度も行うことが確認された。

・「目録・分類業務」のコマでは OPAC についても取り扱うことになった。

・業務研修のうち、毎回テーマを変えて行っているコマについては、「図書館の情報発信」研修とし、その中で機関リポジトリについても取り扱うことになった。

・1 日目昼休みの直後にアイスブレイクを 30 分行う予定。

・次回専門委員会までに、業務研修の講師候補をピックアップすることになった。

・2 日目午後の研修については、講師候補者が引き受けてくださるかどうかについて、飯島委員から確認することになった。

（その他、意見）

・実習なし、講義のみの研修ではつまらない。参加者同士がコミュニケーションを取れるような取り組みが必要である。

・基調講演は行わず、イニシア運営委員長に、開会挨拶の後に初任者向けの短い講演を行っていただくというのはどうか。

・1 日のみ参加可とする場合、各業務研修を 1 日目、2 日目にどのように振り分けるかについて、考慮が必要である。

・整理系の業務研修とサービス系の業務研修を行う日を分けることで、1 日のみ参加の受講者が参加しやすくなるのではないか。

・従事している業務以外の業務研修を受講したいと考える参加者もいるだろう。1 日に整理系とサービス系の業務研修を両方受けられるように振り分けたほうがよいのではないか。

・2 日目午後の研修でグループ討議を行う場合、議論を円滑に進めるために、講師や専門委員が各グループに入ってファシリテーションを行う必要があるかもしれない。

・各業務についてグループ討議を行うなど、グループによってテーマを変えるのも面白いかもしれない。

・グループごとに別テーマというのは、時間も足りず、難しい。共通するテーマについて討議し発表するしかないのではないか。

・プレゼンテーション研修では、例えば「図書館サービスの方向性について」の

ような事前課題を与えたほうがスムーズに進行するだろう。

・プレゼンテーション研修では、新入生ガイダンスなどの図書館業務での一場面を想定した実習を行うことができればなおよい。

・プレゼンテーション研修は若手向けなので、参加条件として年齢制限を設けるか。

・図書館に異動したばかりで、図書館業務について知りたいという管理職の方に受講してもらっても構わないのではないか。

4）第 4 回能力開発専門委員会の日程について

9 月 27 日（火）に開催する予定とした。会場については、まず兄井委員が関西学院大学大阪梅田キャンパスの使用の可否を確認することになった。

以上